

事務事業評価表

○基礎情報

課名			福祉政策課		作成責任者		常勤職員		常勤職員以外			時間外勤務時間	
施策目標	16	健康と自立した生活を支え合える地域の仕組みをつくる	吉川 美香				管理職	左記以外	再任用短時間職員	臨時職員	非常勤嘱託職員	総時間	一人あたり月平均
							2 人	9 人	0 人	7 人	0 人	3,970 時間	36.8 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	3次実施計画の現状値	目標値(30年度)	実績値			
			26年度	27年度	28年度	29年度
コーディネーター配置事業実施地区数	2地区	8地区	2地区	2地区	3地区	4地区
コーディネーター配置事業実施地区数	2地区	8地区	2地区	2地区	3地区	
0	0.0%	0				

(評価の見方)

- ・S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
- ・A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
- ・B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
- ・C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
- ・D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
- ・E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
- ・Z 未着手事業(中核市関連のものを含む)
- ・実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実績のないものを含む)

2 事業実績(平成29年度)

No.	事務事業名(第3次実施計画)	事務事業の目的・目指すべき成果・効果 何を・誰を どうやって働きか どうしたいか(生まれる成果・効果) (対象) (手段・方法)	事業性質	従事者数	会計区分	Plan / Do				事務事業の指標名	H29目標値	H29実績値	総合評価(Check)			Action	
						H28予算(円)	H28決算(円)	H29予算(円)	H29決算(円)				評価	取組時間	見直し検討可能性	業棚選定	休・廃止
1	(仮称)茅ヶ崎公園体験学習施設整備事業	老朽化している海岸青少年会館・福祉会館を地域活動や地域福祉の拠点、世代間交流施設として新たな機能を持つ複合施設を整備する。	政策	0.29	一般	0	0	0	0	体験学習施設としての整備目標	体験学習施設建設工事	体験学習施設建設工事	S	増加			
2	社会福祉協議会助成事業	地域福祉を推進するため、茅ヶ崎市社会福祉協議会の運営費用する経費のほか、事業に要する経費を助成する。	政策	0.33	一般	107,602,000	105,598,621	104,788,000	104,344,705	補助金依存率	40.50%	45.60%	S	変動なし	●	●	
3	小災害被災者救援事業	火災等で被害を受けた者に対する支援として、物資・見舞金を支給する。	政策	0.09	一般	1,500,000	50,000	1,500,000	170,000	見舞金の支給	随時	随時(実績:5件)	S	増加			
4	大規模災害被災者生活再建支援事業	自然災害の被災者に、災害弔慰金等の支給、援護資金の貸付を行うことで、市民の福祉及び生活の安定を図る。	政策	0.01	一般	1,250,000	0	1,250,000	0	大規模災害被災者生活再建支援事業(第2次)災害弔慰金の支給(第3次)	随時	随時(実績:0件)※対象事案なし	実績なし	変動なし			
5	地域福祉推進事業	身近な地域での相談支援体制の充実等により地域福祉の推進に寄与する。	政策	1.11	一般	577,000	401,158	1,146,000	812,862	地域福祉計画推進委員会の開催/地域福祉活動交流会の開催	6回 1回	3回/1回 ※交流会は「地域福祉フェスタ」として実施し、約710名の参加があった。	A	増加			
6	被爆者援護手当支給事業	被爆者へ手当を支給することで、恒久平和の確立に寄与する。	政策	0.06	一般	1,320,000	1,260,000	1,272,000	1,152,000	被爆者援護手当支給回数	1回	1回	S	変動なし			

7	臨時福祉給付金等給付事業	消費税率引き上げに際し、低所得者等に臨時福祉給付金を給付する。	政策	4.02	一般繰越	1,569,231,000 845,503,904	615,573,000 461,392,161	給付終了時期	9月末	9月末	S	減少			
8	(仮称)茅ヶ崎市営小和田住宅外複合施設整備事業(地区ボランティアセンター等の移転・併設)	(仮称)茅ヶ崎市営小和田住宅外複合施設にボランティアセンターを移転する。	政策	0.11	一般	0 0	685,000 607,824	施設整備	関係機関協議実施設計	関係機関協議(供用開始後の管理運営に関する検討会が発足した。)実施設計	S	変動なし			
9	社会福祉法人の許認可等に関する事務事業	社会福祉法人の適正な運営を確保し、地域福祉の増進を図る。	政策	0.55	一般	60,000 58,153	10,000 9,418	監査件数	14法人	12法人	S	増加			
10	地域福祉活動支援事業	ボランティアセンターの整備等を通じて、地域の福祉活動を支援する。	政策	0.44	一般	26,012,000 25,088,787	40,941,000 36,321,638	新規のボランティアの数	74人	148人(地区ボランティアセンター活動件数:4,123件(12か所合計))	S	増加	●	●	
11	福祉会館の管理運営事業	福祉会館の管理運営により、福祉の増進、福祉活動の育成発展を図る。	政策	0.45	一般	21,422,000 21,169,200	21,342,000 21,316,328	福祉会館利用者数	83,000人	103,710人	S	増加			
12	コーディネーター配置事業	コーディネーターの配置等を通じて地域の課題解決力の向上を図る。	政策	0.44	一般	764,000 611,063	1,052,000 748,074	実施地区	6地区	4地区(地区支援ネットワーク会議における共有事例の実人数:102名(4地区合計))	A	増加	●	●	
13	地域福祉総合相談室設置運営事業	身近な地域で分野にとらわれない相談支援窓口を整備し、地域福祉の増進に寄与する。	政策	0.76	一般	64,108,000 64,107,720	66,924,000 66,710,239	連携を広げていくための意見交換の実施団体数	24団体	26団体	S	増加	●	●	
14	保護司との連絡及び調整事業	保護司への支援を行うことで、青少年の非行防止や更生を図る。	定例定型	0.12	一般	308,000 307,800	308,000 307,800	「社会を明るくする運動」の街頭啓発活動実施回数	1回	1回	S	変動なし			
15	社会福祉基金補助事業	市社会福祉協議会が設置した基金の運用収益金をもって各種事業を行う。	定例定型	0.11	一般	280,000 280,000	310,000 310,000	寄附の受付	随時	随時(実績:9件(230千円))※10千円は次年度補助	S	変動なし			
16	社会福祉協議会事務所等の管理に関する事務	市社会福祉協議会の事務所を継続的に確保する。	定例定型	0.25	一般	26,848,000 26,617,373	26,862,000 26,722,221	契約に基づく管理費の支出	毎月	毎月	S	変動なし			
17	戦没者遺族会への支援	戦没者遺族会への支援を行うことで、恒久平和の確立に寄与する。	定例定型	0.11	一般	238,000 237,600	238,000 237,600	行事参加回数	5回	5回	S	変動なし			
18	戦没者追悼関連事業	戦没者追悼式を開催することで、恒久平和の確立に寄与する。	定例定型	0.40	一般	1,173,000 1,011,679	503,000 419,743	市戦没者追悼式の実施回数	1回	1回	S	増加			
19	日本赤十字社との連携業務	日本赤十字社と連携し、被災者援護等を図る。	定例定型	0.65	一般	0 0	0 0	日本赤十字会員増強運動(募金活動)回数	1回	1回	S	変動なし			

20	被爆者の会への援 護事業	被爆者の会への支援を行うことで、恒久平 和の確立に寄与する。	定例 定型	0.06	一般	40,000 40,000	40,000 40,000	行事参加回数	1回	1回	S	変動 なし			
21	福祉有償運送登録 支援事業	移動に制約のある地域住民の移動手段の 拡大を図る。	定例 定型	0.14	一般	0 0	0 0	運営協議会の回数	4回	3回	A	変動 なし			
22	平和の礎維持管理 事業	平和の礎を維持管理し、恒久平和の確立に 寄与する。	定例 定型	0.09	一般	80,000 36,911	178,000 142,212	清掃回数	随時	随時 (実績:1回)	S	変動 なし			
23	民生行政に係る表 彰事業	民生行政功労者の表彰を行うことで、地域 福祉の増進を図る。	定例 定型	0.02	一般	0 0	0 0	福祉関係者及び福祉関 係団体から推薦のあつ たものを報告	随時	随時 (実績:8表彰)	S	変動 なし			
24	民生委員児童委員 に対する支援及び補 助事業	民生委員児童委員への支援を行うことで、 地域福祉の増進を図る。	定例 定型	0.87	一般	36,079,000 35,070,190	35,582,000 35,043,720	民生委員児童委員数	321人	319人	S	変動 なし			
25	社会福祉統計の総 括事業	社会福祉行政推進のための基礎資料を得 ることで、地域福祉の増進を図る。	定例 定型	0.10	一般	0 0	0 0	統計の実施	4回	4回	S	変動 なし			
26	成年後見制度利用 促進事業	成年後見制度の普及啓発を行うとともに、成 年後見支援センターを設置し、制度利用に 係る相談支援を行うことで、権利擁護の推進 を図る。	政策	0.32	一般	0 0	5,156,000 5,155,400	成年後見制度の普及啓 発のための講演会の実 施	1回	1回	S	増加			
27	市民後見人養成事 業	市民後見人の養成を通じて、地域福祉の担 い手及び権利擁護の担い手の充実を図る。	政策	0.41	一般	0 0	2,298,000 1,188,342	市民後見人養成研修開 催回数	2回 (基礎研修、実践研 修)	1回 (実践研修)	A	増加			
28	災害応急対策活動	-	定例 定型	0.11	一般	0 0	0 0								
29	庁内共通事務	-	定例 定型	0.20	一般	136,000 118,260	669,000 641,742								
30	部内調整事務	-	定例 定型	0.19	一般	0 0	0 0								
合計				12.81		H29総予算(円) H29総決算(円)	928,627,000 763,794,029								

3 実施計画事業の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check)／今後の展望(Action)	
<p>福祉政策課の第3次実施計画の事務事業数は、「災害応急対策活動」「庁内共通事務」「部内調整事務」を除き27事業である。</p> <p>No.26「成年後見制度利用促進事業」及びNo.27「市民後見人養成事業」については、これまで高齢福祉介護課と障害福祉課で共同で進めていた事業であるが、成年後見制度の利用者が高齢者や障害者に限定されないこと、市民後見人の養成が権利擁護の担い手育成につながり、地域福祉の増進に寄与するものであること等から、福祉政策課へ事務移管したものである。</p> <p>これらを指標の達成度及び事業の実施効果から見ると、最も多かったのは「S」が22事業、「A」が4事業となっている。No.4「大規模災害被災者生活再建支援事業」については該当事案がなかったため、「実績なし」と評価した。</p> <p>指標の達成状況に着目すると、80%以上達成できた事業は、指標を設定している27事業の82%を占めており、概ね順調に事業を実施できたと考えている。事業の成果に着目すると、庁内共通事務等の3事業及び実績なしの1事業を除き、全26事業において成果は上がっている。</p> <p>29年度は「みんながつながる 茅ヶ崎の地域福祉プラン」の中間評価を行った。同プランの重点的な取組である「コーディネーター配置事業」は、施策指標にも位置づけており、実施地区が1地区増加した。今後も身近な地域で安心して生活できるよう、相談支援体制等の充実に取り組んで行く。</p> <p>福祉会館については、複合化する(仮称)茅ヶ崎体験学習施設の供用開始時期について、方向性が見えたため、福祉会館の解体に向けた各種調整を実施した。今後、福祉会館利用団体の新施設への利用移行が円滑に進むよう、各種調整を行うとともに、新施設におけるあらゆる世代が、福祉をはじめとして様々な分野について学び、体験し、交流できるような事業の実施に向けて、関係課と調整を行っていく。</p> <p>時間外勤務の状況では、総時間が3,970時間、一人当たりに換算すると月平均36.8時間となっている。28年度の一人当たりの月平均時間外勤務は32.98時間となっており、3.82ポイント上昇している。日中は庁内外での事業実施や関係機関との調整に要することが多く、日中できなかった事務処理を時間外勤務時間で対応している。また、審議会では委員が会議に出席しやすい環境を整えるため、夜間に会議を設定すること等から、時間外勤務が多くなっている状況がある。29年度では、地域福祉プランの中間評価、総合計画第4次実施計画策定等の事務の増加により時間外勤務が増加した。今後、事業の優先順位や実施手法等についても見直しを進め、時間外勤務の縮減に努める必要がある。</p>	

4 見直し検討可能性にチェックの入った事業のうち休・廃止検討事業

No.	事務事業名	休・廃止検討の理由
-	-	-
-	-	-

5 働きかたの見直しにおける取組結果(28-29年度の2か年の取り組みの結果、得られた生産性向上などの成果)

No.	事務事業名	取り組みの結果
-	-	課内全体で各事務事業の進め方、課題、進捗状況について職員間の対話を進め、事務事業の方向性を担当内で共有できるようにした。
-	-	-